

# 千葉大学感染症情報

## —ジカ熱—

2016年9月27日

ジカ熱はデング熱やチクングニア熱と同様、蚊を介して感染します。流行地域はブラジルや中南米、東南アジアなどです（図参照）。

1. 流行地域で蚊に刺されてから数日後に、軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節痛、筋肉痛、倦怠感、頭痛等の症状が見られた場合は、医療機関を受診してください。ただし、感染者の8割は症状がないとされています。
2. 海外の流行地域へ出かける際は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。
3. 妊娠中にジカウイルスに感染すると、胎児に小頭症等の先天性障害を来すことがあることから、妊婦及び妊娠の可能性のある方は、可能な限り流行地域への渡航を控えてください。
4. 流行地域からの帰国者は、国内での感染の広がりを防ぐために症状の有無にかかわらず、虫よけ剤の使用など蚊に刺されないための対策を少なくとも2週間程度は行ってください。
5. 性行為による感染の報告があるので、流行地域から帰国した男女は、症状の有無にかかわらず、最低8週間、パートナーが妊婦の場合は妊娠期間中、性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えることが望ましいです。

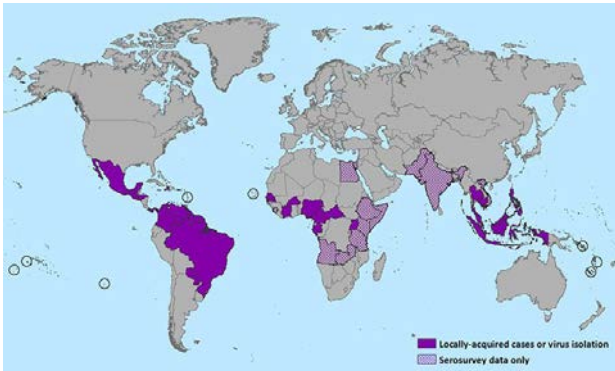
ジカ熱に関する一般的事項

厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

国立感染症研究所

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/6224-zika-fever-info.html>



# 千葉大学感染症情報

## —麻疹の流行—

2016 年 9 月 27 日

幕張メッセで開催された大規模コンサート（2016 年 8 月 14 日）への麻疹患者の来場や関西国際空港職員の発症などに関連し、今後、各地での麻疹患者の発生・増加が懸念される状況にあります。9 月 12 日現在、千葉県内では松戸保健所管内で 16 例の麻疹の報告があり、船橋市や市川保健所、習志野保健所管内の医療機関においても、麻疹の報告があります。

麻疹は、麻疹ウイルスによる急性の全身感染症です。感染力が非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100 パーセント発症するといわれています。

1. 予防接種記録を確認してください。母子健康手帳等で 2 回麻疹を含むワクチン接種を受けていることを確認しましょう。（MR, MMR, 麻疹単ワクチン等）
2. 上記の予防接種を 2 回済ませていない方は、追加接種をお勧めします。特に、海外渡航・留学を控えている方はトラベルクリニックへ受診して相談しましょう。
3. 発熱（38 度前後）や発疹など、麻疹が疑われる症状が現れた場合は、医療機関にすぐに受診するのではなく、必ず事前に医療機関に電話連絡でその旨を伝え、指示に従って医療機関を受診してください。

麻疹に関する一般的事項

国立感染症研究所

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/518-measles.html>

厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/index.html>

連絡先：総合安全衛生管理機構 ナース室 ☎ 043-290-2214（内線 2214） E-mail  
[info-hsc@office.chiba-u.jp](mailto:info-hsc@office.chiba-u.jp)